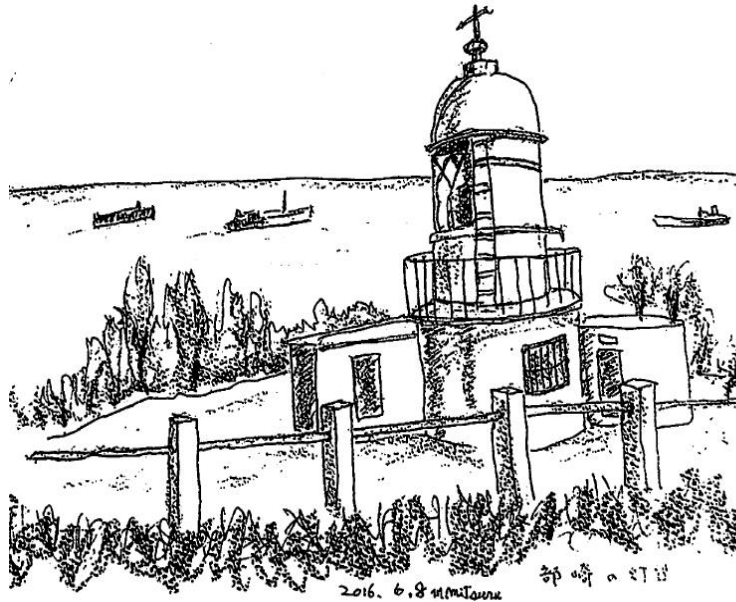


週報2021年5月23日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。  
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書43章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年5月23日

司会・奏楽・メッセージ 山崎銀次郎牧師

(オンライン礼拝) HP アドレス：<http://jesus.holy.jp/>

祈祷	開会の祈り
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和
賛美	コーラス 21「主は今みことばをもって」
祈祷	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！ *
聖書朗読	ピリピ人への手紙 4章 2-9節
説教題	「同じ思いになって」
祈祷	御言葉の応答の祈り
祈祷	祝福と派遣の祈り

**交わりの三省**

- \* 互いに愛し合っていますか
- \* 互いに赦し合っていますか
- \* 互いに祈りあっていますか

# 説教要約

## 使徒の働きピリピ人への手紙 4 章 2-9 節 「同じ思いになって」

### ①キリストに似る者へと

ユウオデヤとスントケはピリピの教会の婦人達です。どうやらこの二人は当時、仲違いをしていたようです。ケンカの原因は不明ですが、一説によると、教会運営の方針の違い、或いはある奉仕の考え方の不一致と言われています。いずれにしても二人は熱心なクリスチャンで教会の為に一生懸命という事は共通していたようです。（4：2-4）パウロはこの二人の事例を取り上げつつ、**教会全体**がキリストに似る者へと変えられ、心を合わせて一致するように勧めています。（2：2）パウロがピリピの人達に伝えたかったことは**キリストの弟子としての情熱の矛先**です。言い換えると「何に心を燃やすのか？」です。

一生懸命な奉仕、一生懸命な伝道、一生懸命なクリスチャン生活。それらの働きに対して「何のためにそれをするのか？」という**始まりの動機とその答え**を神様から頂かないと信仰生活で情熱の方向性を見失います。つまり利己的な生活に陥り、自分の見返りや正当性を求め、相手の労に対するねぎらいや感謝が薄れて行きます。信仰生活の始まりとゴールは**キリストに似る者へと願い、イエス様の愛によって造り変えられること**です。

### ②一つになる為に

パウロの喜びは2章2節にあるように、**（キリストと）同じ思いになって、教会が一つになる事**です。そして教会は建物の事を指すのではなく、キリストのもとに集められた人々（共同体）の事を指します。つまりパウロの祈りは教会がキリストの愛にとどまって、互いに愛し合う事です。それはイエス様の願いであり、喜びでもあります。

イエス様は十字架にかかれる前、弟子達の足を洗いました。

その目的は弟子達の間で互いに足を洗いあう事を願ってです。パウロはピリピ書でこのように言っています。「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。（2：3）」パウロは自分がキリストの弟子としてキリストの姿勢を見倣い、率先して相手に仕える者へととなりました。そして「お互いに謙遜で相手を尊重し合う関係に入りましょう」と勧めています。

相手を尊重するためには、自分の身を低くしないといけません。キリストの弟子としての成長は**“何かが出来るようになる”**事ではありません。**“隣人がキリストと共に生きる事が出来るように仕えること”**です。利己心や虚栄心を捨てて、そのように生きるために必要なことは、キリストの愛の絶大な価値（3：8）を知ることです。その時、人とキリストに仕える喜びも知ることが出来るとパウロは言っています。

### ③平和の内に

最後にパウロは**キリストにある平和**をこの場所でも求めています。イエス様の様になりたいと願う人は、仕える人、寛容な人、へりくだる人、他者を尊重する人の事です。つまりは**平和を作る者**（マタイ 5：9）の事を言っています。パウロは、ユウオデヤとスントケに対して、その情熱を受け入れつつ、平和の作る人になる事を願っています。なぜなら、争いは伝播します。争いは怒りと憎しみしか生み出さず、次の争いの種を生み出します。しかし平和を作る人は、キリストの愛の内に、次の平和の子を生みだして行きます。イエス様がこの地上に神の子として来られたのは平和の世界を作り出す為です。パウロは重ねて、キリストに倣う者になりなさいと語っています。

自分の正当性を勝ち取る戦いに平和は生まれません。真の勝利者は自らの身を低くかがめ、神に祈りを捧げる人です。**真の勝利者は神の内にある平和を勝ち取る日まで祈り続ける人**です。その時、人知を超えた神の御業が教会に働かれます。今日も私達と共におられる平和の神に願い求めて参りましょう。